

『東北見聞録 5  
歩く・会う 語る・住む』  
黒田四郎/著 八潮社/発行  
2011年5月/刊

291.2  
Ku,72  
5

## 東北の風景から知る日本の良さ。

著者が東北を訪れ、実際に見たり聞いたりした事柄を記した、文字通り見聞録です。東北各地の歴史と文化、風土を様々な書物から研究し紹介、その土地や人々に接し知り得たことを書き留めています。土地にちなんだ古典文学や逸話、ユーモアある事柄を語ってくれる本書は、古来から受け継いできた日本の良さを再発見させてくれます。

『カカオとチョコレートの  
サイエンス・ロマン』  
佐藤清隆・古谷野哲夫/著  
幸書房/発行 2011年10月/刊

617.3  
Sa,85

## チョコレート誕生の軌跡を探る。

「お菓子の王様」「神の食べ物」といわれるチョコレート。世界中の人々に愛されるこのお菓子の誕生は約160年前になりますが、原材料であるカカオと人類との出会いは、遙か一万年以上昔と考えられています。実を食べ、飲み物とし、さらに加工して新たな食べ物として親しまれてきた、ちょっと不思議なカカオの魅力を、歴史と科学の視点からわかりやすく捉えます。

『ろうそくの炎が  
ささやく言葉』  
菅啓次郎・野崎歓/編  
勁草書房/発行 2011年8月/刊

911.56  
R,72

## 東北に捧げる、言葉の贈り物。

東日本大震災によせて、谷川俊太郎、古川日出男など、多くの文人が作品を執筆しています。心に温かさをもたらす言葉で編まれた詩、生きるということを問い合わせる短編物語、感情が溢れるまま綴られたエッセイ。いずれの作品にも、被災地の人々の心に、わずかでも灯をともすことができれば……という、切なる想いが込められています。おすすめです。

『写真の秘密』

ロジェ・グルニエ/著  
みすず書房/発行  
2011年10月/刊

954.7  
G,84

## 写真にまつわる思い出と秘密。

フランスの作家グルニエは写真愛好家でもありました。ベビー・ボックス、アグファ・ボックス、フォクトレンダー、ローライコルト、オリンパス……。愛機たちを手に、撮り重ねた写真にまつわるエピソードを語ったエッセイです。多くの写真家、業界人と深い関係をもち、1944年のパリ蜂起など、揺れる時代を経験した彼らしく、時には驚くべき秘密が語られることも！彼が幼い頃より、写真に抱き続けた思いを描いた一冊です。

# 県立図書館通信

新年、  
明けましておめでとうございます！

2012年1月号

『九州宝御膳物語  
おいしい郷土料理大事典』  
西日本新聞社/発行  
2006年10月/刊

383.8  
Ky,9

食の宝庫、九州の美味を紹介！各県ごとに作られた御膳の、なんと美味しいこと！地の食材や郷土に根付いた料理を生かして県を代表するシェフ達が考案した、渾身の「宝御膳」。御膳に盛り込まれた一品料理の名の由来や味わい方、各県で愛されている料理の数々、食材を扱う人々の熱い情熱とこだわりや、佐賀でも開催された食のフォーラムの様子を紹介した一冊です。



## 『「総合力」で勝つチーム術

早稲田駅伝チームに学ぶマネジメント  
渡辺康幸/著 日本能率協会マネジメントセンター/  
発行 2011年11月/刊

782.3  
W,46

## 勝つチームを作ったノウハウ。

2011年1月3日。18年ぶりの箱根駅伝優勝、そして史上3校目の「大学駅伝三冠（出雲・全日本大学・箱根駅伝）」を獲得した早稲田大学競争部駅伝チーム。エース不在と言われ、結果が伴わない苦難の数年を経験したチームは、いかにして栄光を勝ち取ることができたのか？ビジネスシーンにも活かせるノウハウとして注目された“チームマネジメント術”を解説した本書。語られる、監督の信念と、選手たちのひたむきな情熱に、駅伝競技への关心も深まります。

## 『ぐるぐる七福神』

中島たい子/著 マガジンハウス/発行  
2011年10月/刊

F  
N,34

## “福”に出会える物語。

ちょっとした不幸から始まった、主人公のぞみの七福神巡り。参拝の途中で見知らぬ町の新鮮な景色を発見したり、思わぬ人との出会いを経験したり、過去を振り返って気分が落ち込んでしまったり……。七福神巡りによって起こる“喜怒哀楽”様々な出来事を通して、主人公は、まわりとの関わりを考え、自分自身を見つめなおします。ラストシーンで描かれる彼女の姿には、思わずっこり。知っているようで知らない、七福神の知識も満載の物語です。



お問い合わせはこちらまで。  
次号は2月発行です♪

■編集■ 佐賀県立図書館 企画課  
図書館ネットワーク担当

